

avancer 『アヴァンセ』

令和2年度・第号2号

令和2年6月吉日 副理事・所長 海老澤政昭

新型コロナウイルスに対する緊急事態宣言は全面解除されましたが、特別支援学校は当面、分散登校が続く予定です。本来であれば、職員研修や各委員会活動等、直接の仲間たちへの取り組み以外の活動が定着しつつある頃なのですが、各部が連携した諸会議等が開催できない状況が続いています。特に放課後等デイサービスではケース会議も十分に確保できない状況です。職員が集まっての会議はなかなか取りにくいですが、書面における連携を欠かさず、取り組みにおける共通理解がしっかりとされるように配慮しているところです。

火災想定訓練を実施しました。新しい事業所での避難経路の確認が目的です。今までの訓練が身に付いているせいか、スムーズに非難することができました。6月には風水害想定訓練を行う予定になっています。

今の事業所名称である岩世ヶ原の由来は、文字のごとく、ゴロゴロした岩の原っばということらしいです。“がんぜがはら”ではなく通称“がんじょっばら”だそうで、そのまま事業所名に使わせていただいています。住所は原田になりますが、町内は神戸1丁目になります。神戸は今宮浅間神社の社領村であり、古くから神社に附属する農民という意味から神戸（ごうど）と呼ばれていたそうです。地域の由来を学ぶことはとても大事だと思います。神戸付近には、頼朝伝説や今宮浅間神社に関する富士山信仰、かぐや姫伝説、武田氏のかかわりなどなど、たくさんの歴史があります。それらのスポットを訪ねてみるのもいいですね。今は身近な地域をじっくり見つめ直す時かもしれません。きっと、新しい発見や見過ごしていたことを気付かせてくれると思います。



第一回火災想定避難訓練を実施しました



令和2年5月13日（水）午後3時20分より、岩世ヶ原では第一回の火災想定避難訓練を実施しました。総勢40名余りの避難訓練でしたが、ほぼ落ち着いて安全に避難できました。今回はフェイスブックへ動画も投稿し手話での説明も含めました。

【編集後記】

新型コロナウイルス感染症は、まだまだ続きそうですが、ごうでいんぐ岩世ヶ原ではそれ以上に明るい歴史を積み重ねていきたいと思っています。（6月15日（月）は、久々のサロンを予定しております。）

担当 事務長